

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

| | |
|------|-----------------|
| 事業所名 | はあとらいん |
| 住 所 | 兵庫県尼崎市下坂部4-7-28 |
| 電話番号 | 06-6499-1050 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2813006059 |
| 管理者名 | 峯松千夏 |
| 対象年度 | R3年度 |

(I) 労働時間

| | | |
|--|---|----|
| ①1日の平均労働時間が7時間以上 | | 40 |
| ②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満 | | |
| ③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満 | | |
| ④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満 | | |
| ⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満 | ○ | |
| ⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満 | | |
| ⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満 | | |
| ⑧1日の平均労働時間が2時間未満 | | |
| 点 | | |
| ①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点 | | |

(II) 生産活動

| | | |
|--|---|---|
| ①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上 | | 5 |
| ②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上 | | |
| ③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上 | | |
| ④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上 | ○ | |
| 点 | | |
| ①40点 ②25点 ③20点 ④5点 | | |

(III) 多様な働き方（※）

| | | |
|--|---|----|
| ①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度 | | 35 |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | | |
| ②利用者を職員として登用する制度 | | |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | | |
| ③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律 | | |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | | |
| ◎ ④フレックスタイム制に係る労働条件 | | ○ |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | ○ | |
| ◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件 | | ○ |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | ○ | |
| ◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件 | | ○ |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | ○ | |
| ◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 | | ○ |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | ○ | |
| ◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項 | | ○ |
| 就業規則等で定めている | | |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある | ○ | |
| 小計（注1） | | 10 |
| 点 | | |
| (※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点 | | |

(IV) 支援力向上（※）

| | | |
|--|---|----|
| ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 | | 15 |
| 参加した職員が1人以上半数未満であった | | |
| 参加した職員が半数以上であった | | |
| ②研修、学会等又は学会誌等において発表 | | |
| 1回の場合 | | |
| 2回以上の場合 | ○ | |
| ③視察・実習の実施又は受け入れ | | |
| いずれか一方のみの取組を行っている | | |
| いずれの取組も行っている | | |
| ◎ ④販路拡大の商談会等への参加 | | |
| 1回の場合 | | |
| 2回以上の場合 | ○ | |
| ⑤職員の人事評価制度 | | |
| 人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している | | |
| ◎ ⑥ピアサポーターの配置 | | |
| ピアサポーターを職員として配置している | ○ | |
| ⑦第三者評価 | | |
| 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。 | | |
| ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 | | |
| 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている | | |
| 小計（注2） | | 4 |
| 点 | | |
| (※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点 | | |

(V) 地域連携活動

| | | |
|--|---|----|
| 地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している | ○ | 10 |
| 点 | | |
| 1事例以上ある場合:10点 | | |

| 項目 | 点数 | | | | | | | | |
|--------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 労働時間 | 5点 | 20点 | 30点 | 40点 | 45点 | 55点 | 70点 | 80点 | 40 |
| 生産活動 | 5点 | | 20点 | | 25点 | | 40点 | | 5 |
| 多様な働き方 | 0点 | | 15点 | | 25点 | | 35点 | | 35 |
| 支援力向上 | 0点 | | 15点 | | 25点 | | 35点 | | 15 |
| 地域連携活動 | 0点 | | | | 10点 | | | | 10 |

| | |
|-----|----------|
| 合計 | |
| 105 | 点 / 200点 |

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（R3年度）

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|--------|----|-------------------|-------|---|----------------|---|----|
| 雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間 | 19,008 | 時間 | 雇用契約を締結していた延べ利用者数 | 4,742 | 人 | 利用者の1日の平均労働時間数 | 4 | 時間 |
|-----------------------------|--------|----|-------------------|-------|---|----------------|---|----|

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（R2年度）

| | | | | | | | | |
|-----------------|-----|---|--------------|---|---|----|---|---|
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 〇〇〇 | 円 | 利用者に支払った賞金総額 | 〇 | 円 | 収支 | 0 | 円 |
|-----------------|-----|---|--------------|---|---|----|---|---|

前年度（R3年度）

| | | | | | | | | |
|-----------------|-----------|---|--------------|------------|---|----|--------------|---|
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 5,511,596 | 円 | 利用者に支払った賞金総額 | 17,492,902 | 円 | 収支 | ▲ 11,981,306 | 円 |
|-----------------|-----------|---|--------------|------------|---|----|--------------|---|

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（R3年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 ● 名

※ 取得を進めた免許等： 〇〇〇

制度の活用内容： 〇〇〇

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 職員として登用した人数 ● 名

◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※ 登用した日 ● 年 ● 月 ● 日

勤務形態： 〇〇〇

就業時間： ● 時 ● 分～● 時 ● 分

職務内容： 〇〇〇

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数 ● 名

※ 実施した期間： ● 月 ● 日～● 月 ● 日

就業時間（在宅勤務）： ● 時 ● 分～● 時 ● 分

職務内容： 〇〇〇

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数 20 名

※ 実施した期間： 4月1日～3月31日

就業時間（コアタイム）： 9時0分～15時0分

職務内容： ネット販売・店舗販売
お客様対応・軽作業・清掃

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数 1 名

※ 実施した期間： 4月1日～3月31日

就業時間（短時間）： その日の体調による

職務内容： ネット販売

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数 1 名

※ 実施した期間： 4月1日～3月31日

就業時間（早出の場合）： その日の体調による

就業時間（遅出の場合）： その日の体調による

職務内容： ネット販売

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数 0 名

◎ 計画的付与制度を活用した人数 20 名

※ 取得した制度 有給休暇の時間単位取得

計画的付与制度

取得した期間： 4月1日～3月31日

法令に則り、有休消化義務を果たしている

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数 2 名

※ 取得した内容： 病状回復の治療のため

取得した期間： 6/20～7/20・2/7～2/14

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（●年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している

◎ 研修実施回数 外部 ● 回/内部 ● 回

対象職員数 ● 人

うち研修受講者数 ● 人

※ 研修名 〇〇〇

研修講師 〇〇〇

実施日・受講者数 ● 月 ● 日 ● 人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 ● 回

※ 研修、学会等名 〇〇〇

実施日 ● 月 ● 日

※ 学会誌等名 〇〇〇

掲載日 ● 月 ● 日

発表テーマ 〇〇〇

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している

◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている

※ 先進的事業者名 〇〇〇

実施日/参加者数 ● 月 ● 日 ● 人

※ 他の事業所名 〇〇〇

実施日/参加者数 ● 月 ● 日 ● 人

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数 2 回

※ 商談会等名 エコリング商談

主催者名 株式会社エコリング

日時 12月23日

内容 リサイクル販売事業

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している

◎ 当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 ● 年 ● 月 ● 日

人事評価制度の対象職員数 ● 名

うち昇給・昇格を行った者 ● 名

当該人事評価制度の周知方法 〇〇〇

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している

◎ 当該ピアサポーターは「障害者7种ト研修」を受講している

※ 配置期間 12月9日～4月30日

就業時間 10:00～17:00

職務内容 職業指導員

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※ 評価を受けた日 ● 月 ● 日

第三者評価機関 〇〇〇

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証を受けている

※ 認証を受けた日 ● 月 ● 日

規格等の内容 〇〇〇


(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。
必要に応じて行を増やす等、

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | | | |
|------|-----------------|-------|------------|
| 事業所名 | はあとらいん | 事業所番号 | 2813006059 |
| 住 所 | 兵庫県尼崎市下坂部4-7-28 | 管理者名 | 峯松千夏 |
| 電話番号 | 06-6499-1050 | 対象年度 | R3年度 |

地域連携活動の概要

| | |
|---|--|
| <p><活動内容></p> <p>HTS株式会社 尼崎事業所 R3.4.1～R4.3/31 引越し業の不用品の仕分け・清掃・リサイクル販売 参加利用者数 10名から20名</p> | <p><活動の様子></p>  |
| <p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい 不用品のリサイクル販売を通し、障がい者施設と地域企業とともに収益を得ることができる。また、地域企業と接することで利用者への社会勉強になり、仕事への責任を自覚させることができる。</p> | |
| <p><成果></p> <p>障がい者施設側はネット販売の収益を得ることができた 地域企業側は収益の中から手数料を得ることができた また、リサイクル販売のノウハウ取得や接客スキルの向上につながった 課題点・・・収益で利用者の賃金をまかなえていない</p> | |

連携先の企業等の意見または評価

不用品を迅速にリサイクル販売してくれて助かっている。
利用者さんたちも勤勉で熱心に取り組んでくれている。

| | | | |
|--------|---------|------|------|
| 連携先企業名 | HTS株式会社 | 担当者名 | 苫米地修 |
|--------|---------|------|------|